

第2回	横浜市磯子区地区センター及び横浜市喜楽荘指定管理者選定委員会会議録
日 時	令和5年8月31日（木）14時～16時
開催場所	磯子区役所6階601会議室
出席者	岩永委員（東京地方税理士会横浜南支部税理士） 宇座委員（滝頭上町町内会会長） 川添委員（横浜国立大学名誉教授） 坂本委員（NPO 法人夢・コミュニティ・ネットワーク代表） 関委員（滝頭地区民生委員児童委員協議会会長）
欠席者	なし
開催形態	一部非公開（傍聴者2名）
議 題	1 面接審査 2 審査・選定
決定事項	1 第2回委員会の一部非公開の確認について 第1回委員会で決定したとおり、議題1の面接審査（プレゼンテーション及び質疑応答）は公開とし、議題2の審査・選定は非公開とする。 2 指定候補者について 応募書類審査及び面接審査の結果、次の団体を指定候補者として磯子区長に報告する。 ・指定候補者 一般社団法人磯子区区民利用施設協会
議 事	会議の公開・非公開について、第1回委員会で決定したとおり、面接審査を公開とし、その後の審査・選定は非公開とすることを確認した。 事務局から、応募は1団体で、応募者資格の欠格事項に該当しないことについて報告した。 1 面接審査 応募団体のプレゼンテーション10分間、質疑応答20分間程度で実施。 (1) 応募団体によるプレゼンテーション 事業計画等について説明があった。 (2) 質疑応答 (委 員) 令和4年度は決算に横浜市による運営支援が計上されている。 (団 体) 光熱水費の高騰により市から支援金が交付された。 (委 員) 光熱水費は今後も厳しい状況が続くと思うが、市からの補助がなかったとしても令和6年度の収支予算に問題はないか。 (団 体) 指定管理料の設定自体、物価高騰を見込んでいるものではないと思われる。今後の物価高騰等の動きを見据えて、必要に応じて市と協議していく。 (委 員) 例えば外国人が多いなど、滝頭地区の特性をどのようにとらえて、どういった対応をしていこうと思っているのか。また、提案書の中で、地域連携の推進、企業や商店との連携とあるが、具体的にどのような連携を

行い、どのような成果を出していこうと思っているか。また、自主事業で地域人材の掘り起こしを実施とあるが、具体的にはどのような形で実施する予定なのか。

(団 体) 磯子区は外国人が比較的多く、滝頭地区は中国人が多く住んでいる。子育てをしている外国籍のご両親等は文化の違いで苦勞も多いと思うが、コミュニティを通して滝頭地区になじんでもらえる企画を実施していかななくてはならないと思っている。地域の活用や掘り起こしということでは、例えば自主事業の親子木工教室では地元の大工さんを講師によんでいる。区民利用施設協会の 11 施設の中で情報共有の会議を行い、地域人材についての情報の共有も図っている。自治会や青少年指導員等、昔から地域に携わっている方々からのご紹介もあわせて事業を企画していきたい。

(委 員) 外国語ができるスタッフはいるのか。

(団 体) 今は配置していない。課題の一つとして認識している。

(委 員) 緊急時の対応計画について、地震の場合は近くの滝頭小学校が地域防災拠点となっているが、施設としてはどのような役割があるのか。

(団 体) 区との協定上は補充的避難所となっている。地域防災拠点の滝頭小学校や岡村中学校がいっぱいになったときに補充的に避難所として使われることになる。

(委 員) これまで運営に携わってきて、次期でここは改善・向上させようというところはどのようなことか。

(団 体) 会議室の予約システムを導入するが、お客様の中にはスマホはもっていても使いこなせない方も多くいる。少しずつでもシステムになじめるように、DX化の波になじんでいけるようなきっかけづくりとしたい。

(委 員) デジタルに対応できない人はどうするのか。

(団 体) 今までどおり、来館や電話でも予約は受付ける。

2 審査・選定

【応募団体の財務状況について】

委員から応募団体の財務状況について説明があり、施設の運営には問題のない財務状況であることが報告された。

【審査結果】

一般社団法人磯子区区民利用施設協会 633 点 (評価基準 9-2、9-3 の項目を含む)
589 点 (評価基準 9-2、9-3 の項目を除く)

満点 : 800 点 (評価基準 9-2、9-3 の項目を含む)

最低基準点 : 450 点

(評価基準 9-2、9-3 の項目を除く各委員の持ち点 150 点 × 5 人 = 750 点の 6 割)

最低基準を満たしており、一般社団法人磯子区区民利用施設協会を指定候補者として選定し、磯子区長へ報告することを決定した。

【委員講評】

- ・全体的には問題ないと思うが、提案内容に具体性が欠けていた。応募が一団体のみというのが残念だ。
- ・地域の利用者の声としては、職員の対応も良く、特に問題がない。
- ・これまで運営を続けてきて、ここは改善・改良していこうという意欲が感じられなかった。滝頭は横浜の中でも古く、独特な地域でもある。地域の特性をとらえて、地元と密着してもう少し特徴的な取組を実施してもらいたい。
- ・前回の提案書と今回の提案書を見比べてみると、ほとんど変わっていない。外国人の問題も含めて、地域はこの間大きく変わってきている。このような地域の変化をとらえて提案内容も変わってくるかと思うが、変わっていないことが残念だ。商店街や企業との連携は新しい提案内容だと思ったが、具体的な取組案がない。今後、5年間の展望や夢を語って欲しかった。
- ・夜間の利用率が向上している点は評価できる。
- ・建物はとても古い、中はとてもきれい使われていて、現場の職員の努力を感じる。今後の地域に根差した活動に期待したい。
- ・応募団体が複数いないため、新しいことに取り組む意欲が感じられない。複数の団体が手をあげるようになれば、工夫もすると思う。行政側の課題でもあるが、指定管理を請け負うことでメリットが感じられ、多くの団体が参入する仕組みを作っていく必要があるのではないか。

資 料

- 1 委員会タイムスケジュール
- 2 応募団体からの提出書類（1団体）
- 3 現指定管理者運営実績評価資料